

テテオ
あてて磨くだけ
電動仕上げブラシ

取扱説明書

品質保証書付



お子さまの安全のために、ご使用前には必ず本書をお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。

■読み終えた取扱説明書は大切に保管してください。

■取りはずしてある部品は、本書をよく読んで取り付けてください。

■本製品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。

ご使用の前に

- 歯の本数の目安1本～(月齢の目安 6ヶ月頃～)
※歯が生えていないお子さまには絶対に使用しないでください。

安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、お取り扱いを誤ると、お子さまや操作をしているかたに危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を、危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」「注意」の2つに区分して示しております。安全のため必ずお守りください。

△ 警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。

△ 注意 誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

△ 警告

- 本製品および各部品は、お子さまには絶対に与えないでください。口に入れたまま、遊んだり走ったりさせないでください。誤ってのどを突くなど重大な事故の原因となります。
「仕上げ用」として保護者のかたのみ、ご使用ください（お子さまがおひとりでみがくための電動歯ブラシではありません）
- 本製品および各部品は、必ずお子さまの手の届かないところに保管してください。誤飲やお子さまがひとりで作動させようとした場合、ケガなどの思わぬ事故の原因となります。万が一、誤飲した場合はただちに本製品を持参し、医師に相談してください。
- 本体から煙が出たり、異臭、異音がする場合は、すぐに使用を中止して電池を取り出し、コンシューマープラザまでお問い合わせください。
- 分解、修理、改造は行わないでください。発火したり、異常動作をしてケガをするおそれがあります。

△ 注意

- 本製品は保護者のかたがお子さまに行う仕上げみがき用の電動歯ブラシです。目的以外の用途では使用しないでください。お口の中を傷つけるなどケガをするおそれがあります。
- 歯ぐきに仕上げ用ブラシを強くあてすぎないでください。歯ぐきを痛めるおそれがあります。
- 現在、歯科治療を受けているお子さま、歯および歯ぐきの病気にかかっているお子さまは、歯科医師にご相談のうえ、お使いください。歯や歯ぐきを痛めたり、悪化させるおそれがあります。
- 使用中に、お子さまが痛みを訴えたり、歯ぐきがはれたり、出血がとまらなかつたりなど違和感のある場合は、使用をすぐに中止して歯科医師に相談してください。
- 仕上げ用ブラシ部を強くかまないよう、お子さまにご指導ください。毛が抜けたり、折れたり、仕上げ用ブラシがはずれ、誤飲したり、口の中や、歯、歯ぐきを痛めるおそれがあります。
- LEDライトの光に向けたり、近づけたりしないでください。目を痛めるおそれがあります。
- 本体が異常に熱くなるのを感じたら、すぐに使用を中止して電池を取り出し、コンシューマープラザまでお問い合わせください。
- 本体は水の中に落としたり、水の中に放置したりしないでください。液体が内部に入ると、故障の原因になります。
- 本製品および各部品が破損や故障したものは使用しないでください。

△ 注意

- 本製品および各部品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 本製品および各部品は火気の近くや車内など高温になる場所、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所、振動衝撃の受けやすい場所での放置や保管はしないでください。故障や変形の原因になります。
- 浴室など高温多湿な場所での使用・放置・保管はしないでください。故障の原因になります。
- 仕上げ用ブラシの取り付け、取りはずしは保護者のかたが行ってください。
- 使用する前に、仕上げ用ブラシが本体に確実に取り付けられていることをご確認ください。
- 電源スイッチを切つてから、本体にブラシキャップを装着してください。また、電源スイッチを入れたまま、放置しないでください。思わぬ事故や電池の消耗のおそれがあります。
- ※電池の使いかたを間違えますと、漏液、発熱、破裂のおそれがあり、ケガや事故、故障などの原因となりますので以下のことを必ずお守りください。
- 電池に記載されている危険・警告内容をよくお読みの上、ご使用ください。
- +、-（プラス、マイナス）を正しくセットしてください。
- 電池をショートせたり、充電、分解、加圧、加熱、火の中に入れたりしないでください。
- 使用推奨期限の過ぎた電池は、使用しないでください。
- 使用後は電源スイッチを切つてください。
- 使い切った電池はすぐに取りはずしてください。
- アルカリ乾電池を使用してください。マンガン乾電池、二次電池（充電式電池）、ニッケル系電池（オキシライド乾電池）などは使用しないでください。
- 外装ラベルがはがれたり、傷、へこみのある電池は使用しないでください。
- 長期間使用しない場合には、電池を取りはずしてください。
- 電源スイッチを入れたまま、電池の交換はしないでください。
- 使用済みの電池は地域の収集・回収方法に従い処分してください。
- 電池から漏れた液体が目・皮膚についた場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診断・治療を受けてください。
- 電池は火の近く、高温、多湿の場所での保管はしないでください。
- 電池はお子さまの手の届かないところに保管してください。
万が一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- 電池の入れ替えは、お子さまの手の届かないところで、大人のかたが行ってください。

各部のなまえ

電池の入れかた

※電池が消耗すると、電源を入れた際、振動が弱くなったり、LEDライトの光が弱くなりますので、新しい電池と交換してください。
※電源が切れていることを確認してから、電池交換をしてください。

1. 電池ケースは本体の底面にあります。図のように本体を持ち、電池キャップを左へ回して取りはずします。

2. 図のように、新しい乾電池(単4形アルカリ乾電池1本)の+、-の向きを確認してセットしてください。

3. 電池キャップを元の位置にセットし、印が重なる位置まで右に回します。

ご使用方法

[仕上げ用ブラシを本体に取り付ける]

図のように仕上げ用ブラシと本体をあわせ、印が重なる位置まで仕上げ用ブラシを左に回します。
最後までしっかりと固定されていることを再度確認してください。

●仕上げ用ブラシを取りはずすときは、上記の「取り付けかた」の逆の手順を行ってください。

【みがきかた】

1. ブラシの毛先に適量の歯みがきジェルなどをつけ、お子さまの口に入れてから電源スイッチを押してください。
※歯みがきジェルなどをつけなくてもご使用いただけます。
LEDライトが点灯します。
2. もう一度電源スイッチを押すと振動がスタートします。
3. 保護者のかたが、仕上げ用ブラシの毛先をお子さまの歯に軽く押しつけて、手みがきをするように小刻みに動かしてください。
※みがきかたのこつは、裏面の「仕上げみがきのワンポイントアドバイス」を参考してください。
4. 約2分間を目安として仕上げを行ってください。振動している間はLEDライトが点灯します。みがき残しがないかチェックしながら、行ってください。
5. 仕上げみがきが終りましたら、電源スイッチを再度押し、OFFにしてから、お子さまのお口から、ブラシを出してください。
電源スイッチをOFFにすると、同時にLEDライトも消えます。
※オートOFF機能：LEDライトの点灯と振動は、それぞれスタートしてから約3分後に自動で電源OFFになります。

1回押す ライト点灯
2回押す ライト点灯+振動
3回押す 電源OFF

△ 注意

- 歯みがきジェルなどを毛先につけ、お口に入る前に電源スイッチをONにするとジェルなどが飛び散る可能性があります。
- 仕上げ用ブラシのプラスチック部分は、歯や歯ぐきに当たらないようにしてください。
- 電源スイッチがONのまま、振動しているブラシをお口から取り出すと液やジェルなどが飛び散る可能性があります。
- スイッチ部は爪でなく指の腹で押すようにしてください。ゴムがやぶれるおそれがあります。
- 研磨剤を含まない歯みがき剤を使用してください。

[ブラシキャップの取り付けかた]

キャップは本体の丸いラインに沿ってまっすぐに「カチッ」というまで押し込み取り付けください。お出かけ時や保管時にはキャップを付けておくとより衛生的です。

●取りはずすときは
上記の「取り付けかた」の逆の手順を行ってください。

テオ あてて磨くだけ電動仕上げブラシ

みがきやすさのポイント

15°ななめネック

ブラシ部は歯医者さんの治療器具と同じ15度の角度がついたネックとなっています。まっすぐな歯ブラシは、歯ブラシの毛先を直視できません。ネックに角度がつけてあることで、歯ブラシの先端と歯の位置関係が把握でき、虫歯になりやすい奥歯や前歯の裏側までみがきやすくなっています。また、前歯をみがく際に、ネック部がお子さまの唇にあたりにくくなっています。



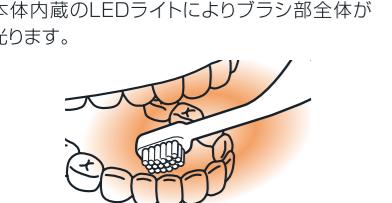
山形カットブラシ

山形にカットされたブラシなので、歯のすき間や奥歯の噛み合わせ部の溝の汚れも効率よくかき出します。



LEDライト

電源スイッチを押すとまず、LEDライトが点灯します。お口の中を明るく照らすので、見えにくい奥歯や歯の裏側など、みがき残しがないかチェックしながら、仕上げみがきができます。



電動仕上げみがきのワンポイントアドバイス

東京歯科大学 小児歯科専門医 米津卓郎先生



おさんの歯みがきが「大変」と感じている声が多く聞かれます。虫歯にしてはいけないと思うあまり、嫌がるお子さんに長い時間、仕上げみがきをしていませんか？ 仕上げみがきのポイントをしっかりおさえ、手早く行いましょう。

またタブレットやジェルなどを併用しながら、歯みがきを楽しくできる工夫もしていくとよいでしょう。

どんな姿勢がいいの？



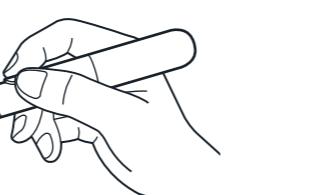
イラストのように、保護者の足の間に寝かせるように頭をのせてみがくと、お子さんのちょっとした動きにも対応しやすいのでおすすめです。

テオ電動仕上げブラシは、LEDライトでお口の中を照らせるので、奥歯まで目で見てみがいてあげられます。

どんな持ちかたがいいの？

イラストのようにえんぴつ持ちがおすすめです。この持ちかたは、毛先に無理な力がかかりにくくお子さんの歯ぐきなどに適度にフィットします。

えんぴつ持ちは、この製品に限らず「テオ はじめて歯みがき 仕上げみがき用」をお使いの場合もおすすめの持ちかたです。



どこが虫歯になりやすいの？

右の図の①や②のあたりが要注意ポイントです。汚れがたまりやすく、歯ブラシが届きにくい溝が多いのです。



①上歯の歯間

15°ネックのまがり角度で毛先がしっかりと届きます。



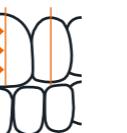
①・②

どちらも、細かい溝の汚れが落ちていないことが、虫歯の原因です。電動仕上げブラシの細かい振動アシストで、さらに毛先が溝に入りやすくなっています。

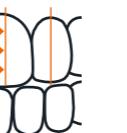
仕上げ用ブラシの動かしかた

すき間にを中心に半分ずつ、小刻みに動かしながら1本分をみがきます。この時、歯と歯ぐきの間にもやさしくあててください。

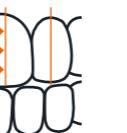
1力所あたり3~5秒程度を目安にみがきます。



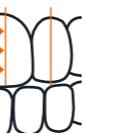
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



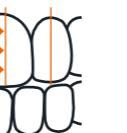
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



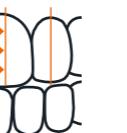
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



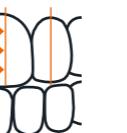
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



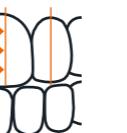
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



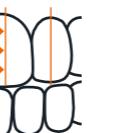
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



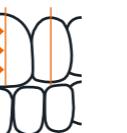
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



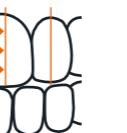
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



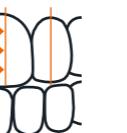
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



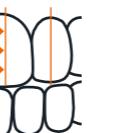
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



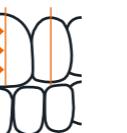
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



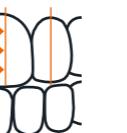
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



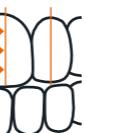
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



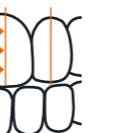
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



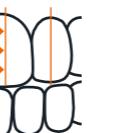
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



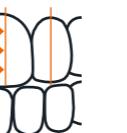
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



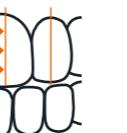
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



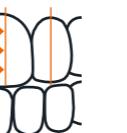
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



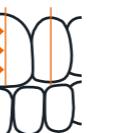
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



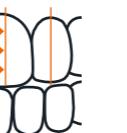
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



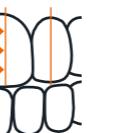
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



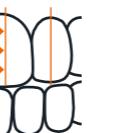
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



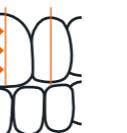
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



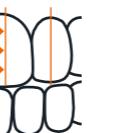
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



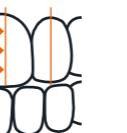
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



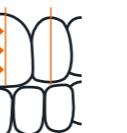
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



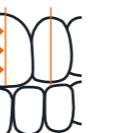
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



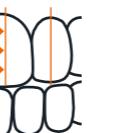
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



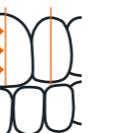
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



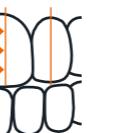
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



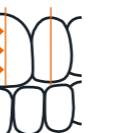
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



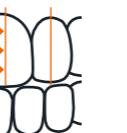
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



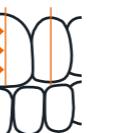
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



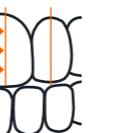
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



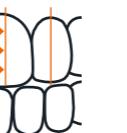
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



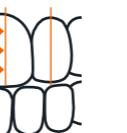
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



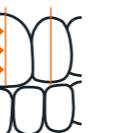
※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。



※強くあててしまふと歯ぐきを痛めるおそれがあります。